

R5-14

学校種の特徴を活かした1日防災学校の取組

- 管内 十勝管内
分類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他（防災教育）
教育課程 教科（全教科） 道徳 総合的な学習（探究）の時間 特別活動
校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
取組のポイント

- 1 胆振東部地震でのハスカップ農家の復興、復旧に係る防災講話の実施
- 2 ハスカップの記念植樹と座談会の実施
- 3 消防署と連携した避難訓練や初期消火訓練の実施
- 4 陸上自衛隊、北海道開発局、村役場、赤十字奉仕団と連携した取組
- 5 保護者や地域住民の参加による地域全体の防災意識の向上を図る取組

取組の実際

ねらい

- 防災教育を関係機関や保護者等、地域住民と連携した「1日防災学校」として実施することで、不測の事態にも円滑かつ生徒の安全に重点を置いた取組を行う。

内容

1 胆振東部地震でのハスカップ農家の復興、復旧に係る防災講話の実施

生徒の防災意識の向上を図るため、全校生徒に対し胆振東部地震の被害状況やハスカップ農家の復興、普及の取組についてハスカップ農家による講話を実施した。

2 ハスカップの記念植樹と座談会の実施

胆振東部地震を教訓とし、復興、復旧に向けて取組んでいる厚真町の思いを引継ぐため、植樹を実施した。今後は、防災について農業高校の特色を活かしてハスカップの生産と加工につなげていきたい。

3 消防署連携した避難訓練や初期消火訓練の実施

地域の消防署に來校していただき、避難訓練や通報訓練の様子を評価していただいた。また、消火器を使った初期消火訓練を本校生徒に指導していただいた。訓練の終了後、講評と火災の発生状況などについて講話を実施した。

4 陸上自衛隊、北海道開発局、村役場、赤十字奉仕団と連携した取組

自衛隊：本校の規格外野菜を使用した災害時の炊き出し訓練、装備車両の展示及び説明を実施した。
 北海道開発局：北海道開発局の業務内容とスマホで活用できる防災情報の紹介等の講話を実施した。
 村役場：避難所設営時に使用する簡易テントと簡易ベッドの設営訓練を実施した。
 赤十字奉仕団：非常食の種類と食べ方、ローリングストックについての説明と非常食の配布を実施した。

5 保護者や地域住民の参加による地域全体の防災意識の向上を図る取組

保護者には、連絡用のツールを使用し、案内文書の配布を行い、地域住民や関係機関の方々には学校での防災教育について広報誌などでお知らせした。当日は保護者や地域住民も講話や炊き出し訓練を參觀いただき、防災意識を高めることができた。



【講演後のハスカップの記念植樹】



【自衛隊による炊き出し訓練】



【非常食についての説明風景】

成果と課題

- 地域性を活かし、多くの関係機関と連携した取組が実施できた。
- 協力いただける関係機関で3年間のローテーションを組み、持続可能な形で防災に関し高校3年間で幅広い活動ができるよう取り組み内容を検討する必要がある。